

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 菅志朋
所属 (School) 地域保健学域総合リハビリテーション学類
学年 (Grade) 2年

留学先 (Name of overseas institution)
University of Maraya
留学期間 (study abroad period)
2019/2/24~2019/3/16

留学レポート Study Abroad Report

私がこのプログラムを選んだ理由は、学生のうちに留学に行きたいと思っており、金銭的にあまり負担がかからないプログラムだったからです。私は、東南アジアに行ったことがなく、衛生面や英語など不安がたくさんありました。しかし、マレーシアは想像していたより発展しており、優しい人が多かったのととても過ごしやすい環境でした。

* 授業について

授業はすべて英語で聞き取るのに精一杯でした。授業の内容としては、講義を受けるというよりはグループワークやゲームなど楽しく取り組めるものが多かったです。先生と生徒の距離が近く先生は私たちの名前を憶えてくれたり、午後のアクティビティーと一緒に参加して下さったりしました。グラマー、リーディング、ライティングなどは高校で学んだことが生かせるので、少し復習していてもいいかと思います。先生の説明をメモしたりするので、ルーズリーフやメモをもっていったほうがいいです。英語の授業はそれほど多くはないので、今回の留学だけですごく伸びたわけではないですが、英語を勉強するきっかけにはなったので、これから英語力を伸ばしていきたいです。

* マレーシア文化について

マレーシア文化についての授業がありました。また、マレーシアの伝統的なダンスなども踊り、マレーシアについての理解が深まりました。一番はもちろんマレーシアで過ごした3週間がマレーシアの文化を身をもって体験する良い機会になったと思います。ローカルバディは様々な宗教の人がおり、私のバディはムスリムの方だったので、豚は食べなかったり、お祈りをしていたり、ヒジャブという布を頭に巻いていました。ムスリムの女性は男性に髪の毛を見せてはいけないという決まりがあるので、少しの外出でも必ずヒジャブを付けていたのが印象的でした。

* 食べ物について

食べ物については、お野菜が基本的に食べることができず、少し野菜不足になった気がしました。お肉は基本的にチキンが多く、少し牛肉がありましたが、豚肉は全く見かけませんでした。学校で出る食事は、日本人に配慮して下さっていたのか、辛すぎるものはあまり出ませんでした。普通の店で売られている食事は見た目からそうでなくてもすごく辛いものがあったので確認してから注文するほうがいいと思いました。学校での食事は朝食、昼食、アフタヌーンティーがあり、果物がたくさんあってとてもおいしかったです。ないとマーケットにはドリアンが売っていて果物の王様と聞いていたので挑戦してみました。私はおいしくはなかったけれど、おいしいと言っていた人もいたので挑戦する価値はあると思います。基本的に油で揚げていたり、油でいためていたり、油をたくさん摂取することがあるのでお腹の調子が悪くなってしまうことがあるかもしれません。私は、料理がおいしくて楽しかったけれどずっとお腹を壊して、一番ひどいときには発熱してしまい病院に行くことになったので、お腹が弱い人には少し注意が必要だと思いました。飲み物も氷抜きで頼むことをお勧めします。



*ローカルバディについて

ローカルバディは私たちと同じ大学生でいろいろな性格の人がいました。みんなに共通していたのは優しくフレンドリーなところでした。私は人見知りするタイプなので、初めは自分から話しかけるということがあまりできなかったけれど、ローカルバディの人たちは積極的に話しかけてくれてとても嬉しかったです。マレーシア人は、日本人とほとんど変わらないので、笑いのツボや、興味のある話が同じで話していてとても楽しかったです。英語が拙くても聞き取ろうとしてくれたり、ゆっくり話してくれるのであまり不自由は感じなかったけれど、やっぱり流ちょうに話せたほうがコミュニケーションも取りやすいし、話の幅が広がるだろうなと思いました。

*生活環境について

お部屋は思っていたよりもきれいでエアコンも自由につけられるのでとても快適でした。物価も安く、生活費は3万円弱で済みました。近くのスーパーで買いたいものはほとんどそろえることができるので、本当に必要なものは変換プラグくらいなのかなと思いました。日本食も食べたくなるかと思いつか持って行ったのですが日本のものがとてもたくさん売ってあって、牛丼屋さんやうどん屋さん、日本人が経営しているラーメン屋さんなど思っていたより日本のものが身近にあり、日本のものが恋しくなることはあまりなかったです。天気は、スコールという局地的に短い時間ふる雨があるので折り畳み傘を常備しておく必要がありました。洗濯物も気を付けて干したほうがいいと思います。

*最後に

最初は不安ばかりでいたのですがいざつってみると楽しすぎてあっという間の3週間でした。人種や文化など関係なくみんな仲良くなれて最後は本当に帰りたくなかったです。みんなで盛り上がりいろいろなところに行けたのは一生の思い出です。これからの生き方を変えるターニングポイントになったのではないかなと思いました。日本では決してできない体験ができたので大満足でした。今回の留学に関わって下さった先生方本当にありがとうございました。

